

平成 30 年 10 月 24 日

都道府県会長会 櫻井会長挨拶

都道府県会長・事務局長各位には、遠路ご上京いただき誠にありがとうございます。  
す。

また、内藤自治税務局長におかれましては、公務ご多端の折にも関わりませず、  
わざわざご来会いただき、ご講演賜りますこと厚く御礼申し上げます。

都道府県会長会開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

まず初めに、去る 9 月 6 日に発生した北海道胆振東部地震は、厚真町で最大震度  
7 を記録し、死者 42 名を数える痛ましい災害となりました。被災された皆様にお  
見舞いを申し上げますとともに、亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上  
げます。

今般の地震では、北海道の広い範囲でブラックアウトとなり、多くの道民の方々  
が不安な夜を過ごしたと聞いております。6 月には大阪北部地震も発生しており、  
地震に対する恐怖心や警戒心が再び増長しておりますので、いつ、どこで地震が発  
生しようとも迅速に対応するための方策を早急に確立するよう、訴えて参りたいと  
考えております。

さて、任期満了に伴う自由民主党の総裁選挙は、安倍晋三首相が連続 3 選を果た  
し、新たに発足した内閣では、地方行財政を担当する総務大臣に石田真敏氏が就か  
れました。石田大臣は県議会議員、市長を歴任し国政に転じられていることから、  
地方の実情に精通しておられますので、これから佳境に入る明年度の予算編成、税  
制改正の議論において、地方の立場を充分にご理解いただき、存分にお力を発揮い  
ただけるものと存じます。

併せて、先の通常国会で上程がかなわなかった、地方議会議員の厚生年金への加  
入についても、画期的な一歩が踏み出せるものと期待いたします。

他方、「地方創生」については、安倍内閣とともに歩んできたと言っても過言で  
はありません。

政府では、内政の最重要課題として、地方経済の再生に向け尽力いただいておりますが、  
町村が地方版総合戦略に基づいて行う事業はまだ緒に就いたばかりであり、  
事業展開から結実までの道のりは長くて険しいものとなります。

とりわけ財政基盤の脆弱な町村が腰を据えて、これらの事業に取り組むためには、制度・財政の両面からの支援が必要不可欠でありますので、新たに就任された片山さつき地方創生担当大臣におかれましても、地方の声に耳を傾け、それを十分に施策に反映させ、地方創生の潮流を加速させていただけるよう、要請して参りたいと存じております。

さて、本日の会議では、内藤自治税務局長から「地方税制の現状と課題」についてご講演いただいた後、来る 11 月 21 日に開催する「第 62 回町村議会議長全国大会」の運営及び提出案件等についてお諮りいたします。

議長大会には、大会要望 25 件に加え、町村が直面する喫緊の課題である「東日本大震災、熊本地震及び豪雨災害からの復旧・復興と大規模災害対策の確立」、「地方創生のさらなる推進」、「町村税財源の充実強化」、「議会の機能強化及びなり手確保」及び「参議院選挙における合区の解消」に関する特別決議を行うとともに、「議員の機能強化及びなり手確保」については重点要望とすることをご提案申し上げます。

また、本会の会務に関しまして、平成 31 年度の「会費の賦課方法」及び「会議・行事予定」についても提案しておりますが、来年度は本会の創立 70 周年となりますことから、11 月の議長大会において記念大会とし、表彰等の記念事業を行いたいと考えておりますので、これら提出案件につき、慎重審議のほどお願いいたします。

終わりに、本日の会議が実りあるものとなりますよう、会長各位の特段のご協力をお願い申し上げ、都道府県会長会開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。